



今月の写真：夏秋トマト

夏も終わり、南会津にも段々と秋の気配が近づいてきました。木や花も収束し始める季節ですが、まだまだ大きく育とうと頑張っている野菜もあります。南会津の小さな太陽は、夏が過ぎてもサンサンと私達を照らしてしてくれるようです。

今月の内容：

- 今月のトピックス
  - ・星芳一氏 福島県農村振興技術連盟表彰受賞
  - ・フォレストセラピー講習会開催  
～森林の癒し効果を活かして～
  - ・有機農業の普及拡大を目指して…
  - ・南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議開催!!  
～よりよい明日への第一歩を探して～
  - ・熊によるスギの皮ハギ被害
- この人を知りたい!!
  - ・新たな道を模索する挑戦者たち
- コラム
  - ・南会津の「緑の文化財」
- 農林事務所からのお知らせ
  - ・ゲリラ豪雨にご注意ください!!

平成20年9月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス



授賞式に臨む星氏

星芳一氏(現下郷町生活課主幹)  
福島県農村振興技術連盟表彰受賞

平成20年8月1日、星芳一さんが、福島県農村振興技術連盟委員長より表彰されました。

星さんは、昭和49年下郷町土木課に奉職以来、建設課・農林課・環境衛生課・環境整備課・事業課それぞれの職務に精励し、町の発展に尽力されました。

特に、奉職した昭和49年から農用地等災害復旧の担当者として、25年以上業務に携わり、急峻な山腹水路等の土地改良施設の復旧に取り組みました。

また、平成18年度から農林整備係長として、同町で初めての経営体育成基盤整備事業、倉楯地区の事業取りまとめや、地元調整に昼夜を問わず尽力され、本年度事業採択の運びとなりました。このように、星さんは同町の農業農村整備事業の推進を通じて、地域農業の発展と住民生活の向上に貢献されたのは勿論のこと、温厚で実直な人柄も大きく評価されました。

(以下、受賞者より一言)

「私の下郷町役場の勤務経歴は紹介のとおりですが、特に、平成18年度より担当しました経営体育成基盤整備事業倉楯地区は記憶に残る事業です。

地区との調整のため日夜協議を重ね、採択まで運ぶことができたことは、地区住民との腹を割った話し合いは勿論のことですが、皆様によるご支援の賜と感謝しております。

このように、微力な私をご指導いただいたことに加え、このような賞をいただけましたことは身に余る光栄です。

今後とも、誠心誠意業務に励みたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

最後に、倉楯地区が一日も早く完工されますことを祈念申し上げます。」

(農村整備部)

フォレストセラピー講習会開催

～森林の癒し効果を活かして～

去る8月23日、只見町布沢の「森林の分校ふざわ」と「癒しの森」を会場に、只見町観光まちづくり協会主催によるフォレストセラピー講習会が開催され、布沢・蒲生両地区からの参加者を中心に、17名が受講しました。

この講習会は、9月6日から11月9日まで(2ページに続く)



受講中の参加者



平野氏より講習を受ける参加者

(1ページから続く)  
の毎週末、布沢・蒲生にある両地区のブナの森においてフォレストセラピーを取り入れた森林散策が行われるのに先立ち、ガイドの方々の研修の一環として実施さ

れました。講習会では、農林事務所によるフォレストセラピーの概要と先進地の取り組み事例等の紹介に続き、NPO法人もりの案内人の会でフォレストセラピーを担当する平野健一さんによる講義及び現地実習を行い、フォレストセラピーと自然観察会での森林散策のガイド方法の違いについて学びました。

今年から始まった新たな活動が、只見町の豊かな森林資源を活かした地域活性化の取り組みにつながっていくことが期待されます。

(森林林業部)

## 有機農業の普及拡大を目指して…。

8月11日に福島県南会津合同庁舎にて、南会津地域有機農産物等普及推進会議が開かれました。会議には、「ふくしま型有機栽培」等の実証ほ担当農家をはじめ、消費者代表、生産者団体、町・県の担当者が出席しました。

各担当から有機及び特別栽培実証ほの生育状況等の説明があり、除草対策としてコイを放流した水稻の有機栽培実証ほでは、残草はあるものの、一定の効果が確認されました。また、各実証ほの生育はおおむね良好で、今後の結果が期待されます。

各組織から有機栽培等への取り組み状況の報告があり、南会津町では、有機栽培等の取り組みを含めた協議会を立ち上げ、モデル地区や栽培推進員を設置するなどの活動が紹介されました。

会議終了後には、水稻とミニトマト有機栽培実証ほを希望コースに分かれて現地を視察しました。ミニトマトの実証ほで試食を行うと、糖度が高く、食味が良好だと大変好評でした。

今後、当地域で有機栽培等がさらに普及拡大されることが期待されます。(農業振興普及部)



ミニトマトの有機栽培実証ほの様子

## 南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議開催!!

～よりよい明日への第一歩を探して～

平成20年度南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議・幹事会合同会議が去る8月25日に開催されました。この会議は、南会津地方の各種団体・町村等が連携して南会津地方の人々と都市住民との交流を図り、地域活性化を図ることを目的としています。



推進会議の会議風景

当日は、各団体の平成19年度実績・20年度計画に加え、推進会議の平成20年度計画等を中心に話し合いました。今年度は各方面において様々な取り組みが計画されており、東京や小名浜など、各種イベントで南会津をPRすることや、今注目されている「農家民宿」について、南会津地方全体でサポートしていこう!!など、各種の取り組み計画が了承されました。

議事後は情報交換が行われ、普段なかなか聞くことの出来ないようなことをざっくばらんに話し合いました。各自が得た情報は、今後の活動に活かされることでしょう。

みんなで創ろう南会津!! 各団体の今後の取り組みに御注目ください!! (企画部)

## 熊によるスギの皮ハギ被害

最近、緑色のスギ林の中に真っ赤に枯れたスギが見られるようになりました。

スギ林の中に入り、枯れた木を見ると、根元の皮が剥がされています。

これは、熊が皮を剥いだことにより、枯れてしまったためです。熊の皮ハギの特徴は、下記のようなものがあります。

- ①幹にはツメ跡、もしくは上下方向に平行した歯形
- ②幹の山側の皮が剥がされることが多い
- ③剥がされた皮は木に残っている。
- ④被害は春先から夏までの期間が多い。

被害を受けた木は、材木にしたときに中が変色していたり、被害が激しい場合には枯れてしまいます。被害は主に成長の良いスギが多く、今まで木を育てられた山主さんにとって大きな痛手です。対策としては、

- ①幹に荒縄、テープなどを巻く。
- ②山側の木の根本に枯れ枝等の障害物を置く。
- ③忌避剤を幹に塗布する。

などがありますが、費用と労力を考え、最終的に残したい木に対して行うのがポイントです。(森林林業部)



被害にあったスギ

## この人を知りたい

### 新たな道を模索する挑戦者たち

(南会津農業青年クラブ会長 馬場由人さん)

今回ご紹介するのは、南会津農業青年クラブ会長を務める馬場由人さんです。馬場さんは、今年で10年目になるトマト農家です。地元の高校を卒業後、農業者大学校に進学し、卒業後すぐに就農しました。南郷トマト生産組合でも若手の中心として活躍しています。

南会津農業青年クラブは、南会津町、下郷村、只見町の農業後継者が集まって平成7年に発足したクラブです。クラブでは、次代を担う農村青年の地域における自主的な組織活動として、農業新技術試験などのプロジェクト活動を行っているほか、農見本市や各種交流会などの行事にも積極的に参加し、他地域の農業後継者との交流を深めています。また、栽培管理や地域おこしといった、自分の



講習を受ける馬場さん(写真左)

経営や、興味のある分野での視察研修も行っています。視野を広めることにより、経営者として、地域の担い手として、経営感覚を身につけるための活動です。

このような幅広い活動が認められ、平成14年には福島県農業賞を受賞しました。

現在クラブ員は18名で、主にトマト、花、水稻を生産しており、クラブ員のほとんどが南郷トマト生産者です。

毎月1回、定例会を開催していますが、今年度からは「折角集まるのだから」と勉強会も開催しています。普及指導員を講師として、土壌・肥料・農薬の話など、毎回テーマを設けて開催しています。農繁期となり毎日クタクタになりながらの作業が続きますが、どのクラブ員も出席し、熱心に勉強しています。また、由人さんは率先して質問を行い、「次はこのテーマでしゃべってほしい」など、普及指導員もタジタジになるぐらいの意欲を持ってクラブ運営に努めています。

『少し活動が停滞した時期もあったけれど、定例会時の勉強会開催など、新規活動を始めると同時に新規会員も増えてきて、意欲を持って活動しています。福島県農業賞受賞など、今までさまざまな成果を上げてきたのも、南会津農業青年クラブ員1人1人に勢いがあったからだと思います。これからも、楽しい活動为目标に活発に活動をし、地域農業の活性化に繋げていければと思っています。』と、由人さんは熱い抱負を語っていました。

(農業振興普及部)



勉強会の様子

## 今月のコラム

### 南会津の「緑の文化財」

「折橋の一本大杉」と「平良林のサラサドウダン」これは、私が4月に赴任してから目にした南会津地方にある「緑の文化財」の一部です。

まず、「折橋の一本大杉」は、南会津町田島宇折橋区の墓地に立つスギです。平成12年指定時のデータによれば推定樹齢400年、樹高は27m、地際から1.2mの高さでの直径が178cmの大杉が、南会津の風雪に耐えて一本すくっと立ち続けてきたことに頭の下がるを思います。このスギは、私の早朝散歩の道筋にあり、春先は雪折れで痛々しかった立ち姿も、今では濃い緑の衣を纏い、力強さが感じられます。

次に、「平良林のサラサドウダン」は、只見町大倉字与名沢山に自生する株立ちのサラサドウダンです。推定樹齢1000年とされ、根周り4.0mで、根元より数本の大枝に分かれ、樹高3.7m、枝張りは東西8.5m、南北10.0mと現地の県教育委員会の案内板にあります。この樹には、「治承4年(1180年)源頼政が、以仁王を奉じた平家討伐の挙兵に敗れ、以仁王が越後に都落ちする際、この風鈴ツツジを深く愛でられた。」と

の故事があり、以来里人が霊木として愛護してきたものです。かの豪雪地で、毎年深い根雪の中から雪解けとともに起き上がり大株となり、旺盛に成長し続け、可憐な花を楽しませてくれることに畏敬の念を禁じ得ません。

ところで、南会津地方における平成17年の林業純生産額は、944百万円で30年前の昭和50年の約1/5にまで激減しており、生業としての林業は非常に厳しい状況にあります。しかし、先に紹介した樹々のように、厳しい情勢の中にあっても地道に美しい森林を次の世代に引き継いでゆくのが、今を生きる私たちの責務と思います。

南会津地方には27件の緑の文化財がありますので、機会あるごとに訪ね当て、その来し方と佇まいを臉に焼き付けたいと思います。

森林林業部長  
宮川信行



平良林のサラサドウダン

# ゲリラ豪雨に ご注意ください!!



平成20年7月27日災害発生  
南会津郡只見町・林道小戸沢線

“ゲリラ豪雨”とは、灼熱の都心を襲う集中豪雨だけでなく、緑豊かな森林・里山にも襲いかかる局地的な猛烈豪雨をいいます。9月からは台風到来の多い時期に入ります。**地すべり・土砂崩れ・土石流等**から生命・財産を守りましょう。

右の表の危険信号に気がきましたら、町村役場・南会津農林事務所にご連絡下さい。

南会津農林事務所 森林林業部森林土木課  
電話：0241-62-5380

(森林林業部)

## 危険信号

I	ふだん澄んでいる沢や井戸の水が濁ってきた。
II	川が濁り、水かさが増し、流木が混ざりはじめた。
III	雨が降り続けているのに川の水位が急に下がった。
IV	山腹面から石が転がり落ちてきた。
V	わき水の量が急に増えた。
VI	今まで涸れたことのないわき水が止まった。
VII	山の木が傾いたり、斜面に亀裂ができた。
VIII	地鳴りの音が聞こえてきた。



## お問い合わせ先はこちら

〒967-0004  
福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256  
電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp  
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



ふるさと心でつながる、食と農  
ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想を  
お寄せください。



この広報誌は  
SOY(大豆油)インキを  
使用しています。